

2027年3月期 第2四半期 連結決算概況

2026年11月10日

オリンパス株式会社 | 取締役 代表執行役 社長兼 CEO ボブ・ホワイト | 執行役 チーフファイナンシャルオフィサー マイケル・パレンティ

OLYMPUS

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。

- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。

- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。

- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

01 エグゼクティブサマリー — CEO

02 2027年3月期 第2四半期 連結業績および事業概況 — CFO

03 通期業績見通しに対する進捗— CEO / CFO

04 Appendix



エグゼクティブサマリー

01



第2四半期もFY2027–FY2029の計画に沿って着実に進捗

財務実績

- 第2四半期は堅調に推移し、成長モメンタムを継続
- GISは主要市場での幅広い成長に支えられ、引き続き当社の成長を牽引。消化器科処置具はVIABIL、Retentia、SecureFlexが牽引し、二桁成長[1,2]を継続
- SISの主力事業である泌尿器科と呼吸器科は、ともに二桁成長[1]を達成。出荷再開が前倒しで進み、SISは着実に回復
- 売上高、調整後営業利益、調整後EPSの下限見通しを引き上げ

事業の進捗

- 事業主体のオペレーティング・モデルの導入が進展し、上期の販管費にも効果
- 臨床的に重要な新たなイノベーションの導入拡大が継続
- BioProtectの統合およびシングルユーススコープの展開により、泌尿器科ポートフォリオを拡充
- FDAエンゲージメント：Warning Letter（警告書）への回答を提出済み。品質システムの是正活動を継続。輸入警告によるFY2027連結業績への追加的な影響、およびお客様への重大な影響は想定していない

将来の成長に向けた取り組み

- 上期はFY2027–FY2029の財務目標に沿って着実に実行
- 製品パイプラインおよび計画中の地域展開拡大が、中長期的な成長軌道を支える見込み
- 戦略基盤に沿った実行を継続することで、業績の一段の向上につなげる

上期の実績は財務・事業運営・戦略面の優先課題における進捗を示し、中長期のコミットメント達成に向けて順調に推移

[1] 前年同期比 [2] 為替影響調整後

品質システムと品質文化の強化

患者さんの安全と製品品質は引き続き当社の最優先事項

これまでの経緯

2022～2023年
国内3拠点に対するFDAのWarning Letterを受領。複数年にわたる品質変革プログラム「Elevate」を開始

2025年
FDAが会津工場に対する輸入警告を発出。FDAが8拠点で査察を実施

2026年10月
6拠点を対象とするWarning Letterを受領。FDAが日の出・白河・青森で製造された指定製品に対し輸入警告を発出

より強固な基盤の構築

- CQOのブライアン・バリーとCMSOのデイビッド・シャンのもと、品質・オペレーション領域のリーダーシップを強化
- 主要拠点におけるリーダーシップ体制を強化するとともに、経験豊富な品質人材を増強
- 是正措置および得られた教訓を全社横断で展開・適用
- 是正措置の完了判断について、全社共通のエビデンスベースの基準を導入
- 是正対応の取り組みを、将来の成長とイノベーションを支える基盤への持続的かつ戦略的な投資として位置付け

今後の取り組み

- FDAとの透明性ある建設的な対話を継続
- 製品開発・製造プロセスに品質オーナーシップを定着
- 人材、システム、外部専門知見への投資を継続
- オリンパスの全拠点で改善の有効性を継続的に実証

すべてのオリンパス拠点において、査察前に品質課題を特定・是正・未然防止し、改善の有効性と持続性を実証できる体制の構築に注力

FY2027–FY2029の計画を支える上期の進捗

イノベーションによる成長 重点的な投資によるポートフォリオの強化

主なドライバー[1]

消化器内視鏡
EVIS X1スコープ（EZ/EDOF） 米国、中国
OLYSENSE 米国、欧州
EU-ME3 米国、中国

消化器科処置具
VIABIL 米国
Retentia 欧州、APAC
SecureFlex 米国、欧州、日本、APAC

泌尿器科
シングルユース尿管鏡/膀胱鏡 米国、欧州、APAC

呼吸器科
細径EBUSスコープ 欧州、日本、APAC
シングルユース気管支鏡 欧州
EU-ME3 米国、中国

消化器内視鏡
EVIS X1スコープ（追加ラインアップ） 米国、欧州、日本、APAC、中国
OLYSENSE 欧州
超音波内視鏡 欧州、APAC
Aplio i800 米国

消化器科処置具
VIABIL 欧州、APAC
Retentia 中国

泌尿器科
レーザーシステム 米国
シングルユース尿管鏡/膀胱鏡 日本
バルーン・スペーサー 米国

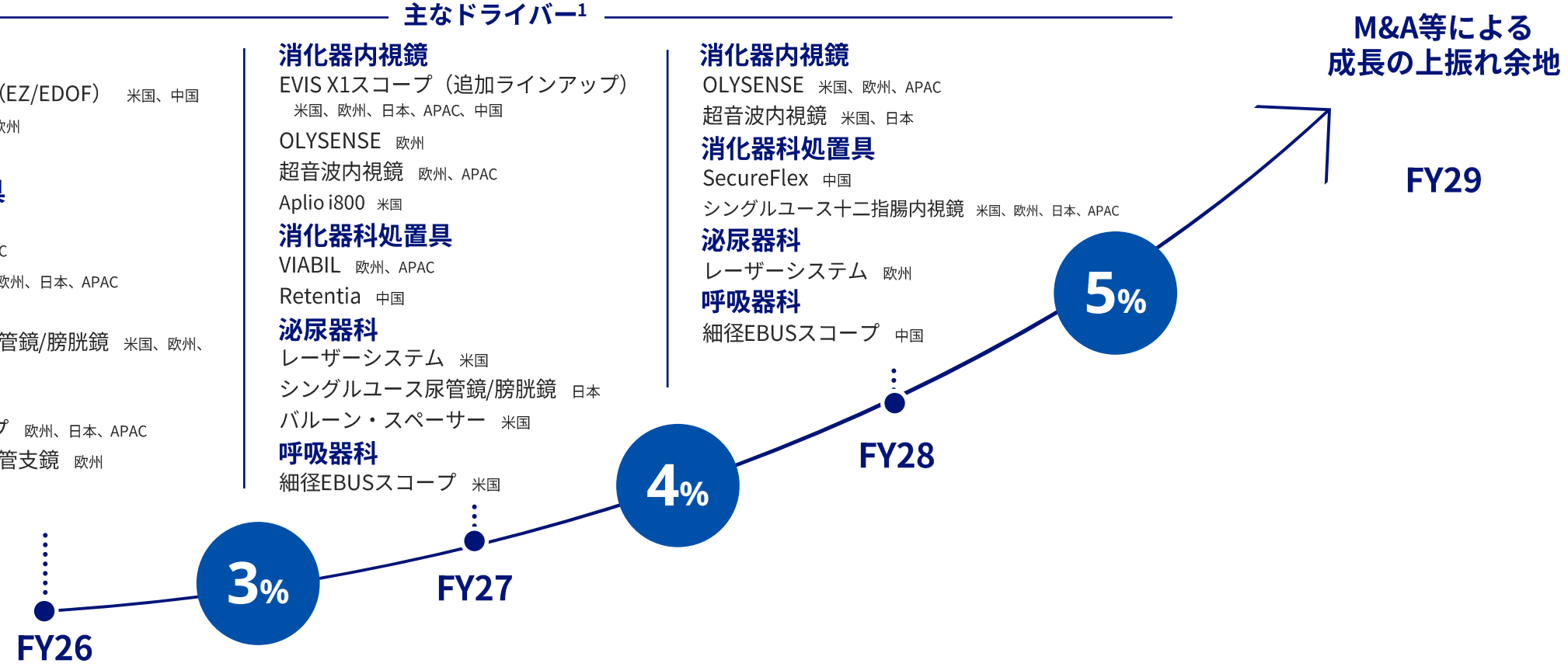
呼吸器科
細径EBUSスコープ 米国

消化器内視鏡
OLYSENSE 米国、欧州、APAC
超音波内視鏡 米国、日本

消化器科処置具
SecureFlex 中国
シングルユース十二指腸内視鏡 米国、欧州、日本、APAC

泌尿器科
レーザーシステム 欧州

呼吸器科
細径EBUSスコープ 中国



**上期の実績は、成長と利益率向上の目標達成に向けた
イノベーション施策が着実に成果として表れ始めていることを示す**

[1] 2026年11月10日時点の想定。製品の発売時期については前後する可能性がございます。

戦略基盤に沿った実行でモメンタムが加速

イノベーションによる成長

次世代イノベーションをリードし、
成長市場での事業拡大を図る

- EVIS X1、EDOFスコープ、VIABIL、Retentia、SecureFlexが引き続き好調
- 既存の泌尿器科チャネルを通じてBioProtectの統合が進展し、前立腺がん領域でのプレゼンスを拡大
- 泌尿器科のシングルユース製品ポートフォリオは米国で好調に推移し、他地域にも展開を拡大

シンプル化

オリンパスをシンプル化し、
迅速な意思決定と効率的な運営を実現

- 事業主体のオペレーティング・モデルを導入
- ポジション最適化施策は順調に進捗
- FY28までの年間240億円のコスト削減目標の達成に向けて順調に進捗

責任ある行動

品質・オーナーシップ・実行力を重視する
ハイパフォーマンス文化の醸成を促進

- GISは主要市場全体で力強い実行力を発揮し、泌尿器科と呼吸器科では成長が加速
- 品質システムの是正と製品供給の改善が引き続き進展
- 外科事業に関する戦略的レビューを継続

戦略基盤に沿った進捗が足元の実行力を高め、FY2027–FY2029に掲げた財務目標の達成を下支え

連結業績および事業概況

2027年3月期 第2四半期

02



2027年3月期 第2四半期実績ハイライト

ハイライト

第2四半期は堅調に推移し、成長モメンタムを継続。通期見通しの達成への確信を深める

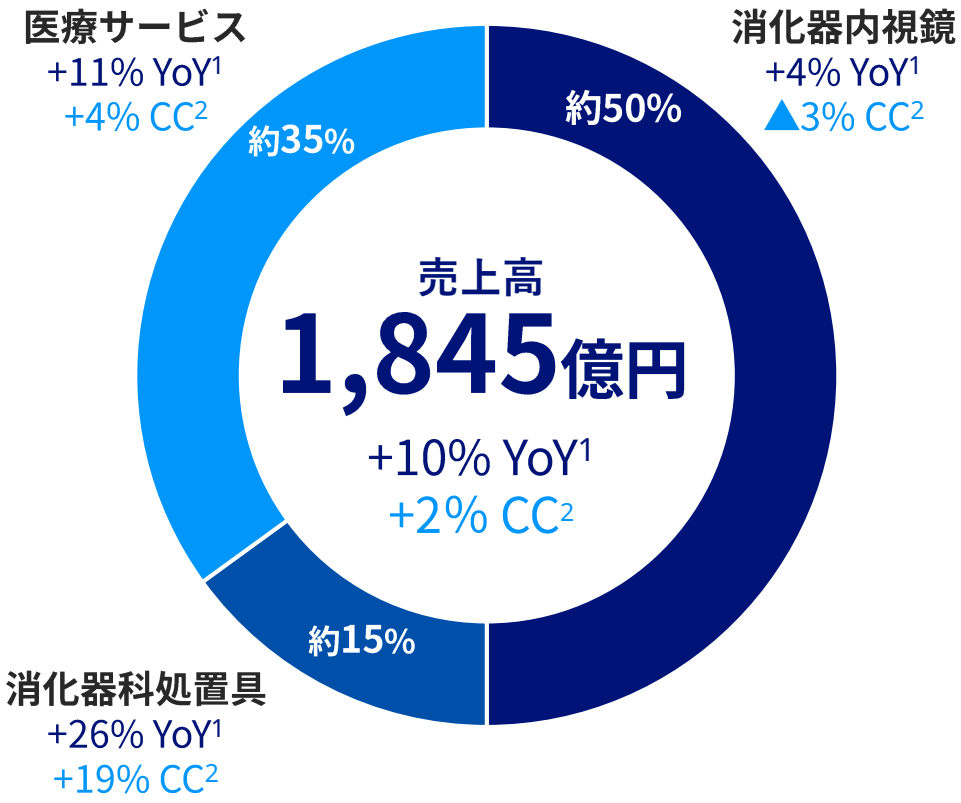


- 売上高は2,692億円、前年同期比で9%成長（為替影響調整後で1%成長）
  GISの主要市場において堅調に推移
- 調整後営業利益率[1]は17.8%、為替の追い風もあり、前年同期比で2.8%pp増（為替影響調整後で0.2pp増）

売上高	2,692億円	+9% YoY[2] +1% CC[3]
調整後営業利益率[1]	17.8%	+2.8pp YoY[2] +0.2pp CC[3]
調整後EPS[1]	32円	+38% YoY[2]
調整後FCF	144億円	▲69億円 YoY[2]

[1] 「その他の収益」「その他の費用」および一時的な米国関税還付（約178億円。うち売上原価の減額約171億円、金融収益約7億円）を除く。調整後EPSは、これらの項目を税効果考慮後で除外。
[2] YoY = 前期比 [3] CC = Constant Currency（為替影響調整後）

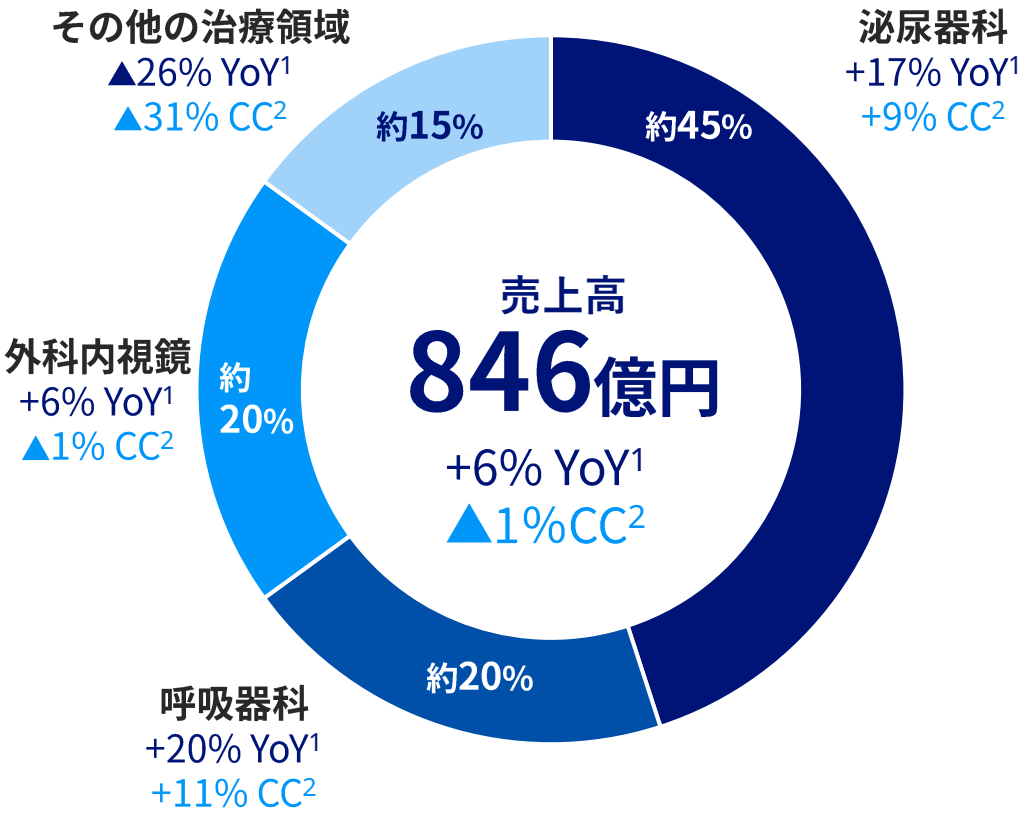
上期のモメンタムを支えるGISの継続的な成長



Q2実績の主な要因	
消化器内視鏡	第2四半期は、為替の追い風により増収の一方、為替影響調整後では減収。欧州では増収となったものの、北米では前年同期の一時的な影響の反動と、案件の長期化の影響により減収。堅調なパイプラインに支えられ、上期では為替影響調整後で3%の増収を達成
消化器科処置具	VIABILステントの好調な業績と止血クリップ「Retentia」、超音波内視鏡検査用吸引生検針「SecureFlex」の継続的な成長により、二桁成長。中国以外の全ての地域で好調に推移
医療サービス	継続的なサービス契約による売上と堅調な事業運営により、北米、欧州、日本、アジア・オセアニアで成長。中国の減収により一部相殺

[1] YoY = 前期比 [2] CC = Constant Currency（為替影響調整後）

製品供給の改善に伴い、SISの注力領域が引き続き成長



Q2実績の主な要因	
泌尿器科	SOLTIVE SuperPulsed Laser System、OES ELITE 硬性膀胱鏡、シングルユース内視鏡、前立腺がん向けバルーン・スペーサーの売上が増加。北米と欧州が成長を牽引
呼吸器科	EBUS-TBNAで使われる超音波気管支鏡や一部機種の出荷止めが解除された気管支鏡が好調に推移。北米が成長を牽引
外科内視鏡	為替影響調整後では減収となった一方、為替の追い風により増収。為替影響調整後の減収幅は2四半期連続で縮小
その他の治療領域	サージカルデバイスにおける一部製品の出荷止めの影響が主因

[1] YoY = 前期比 [2] CC = Constant Currency（為替影響調整後）

OLYMPUS

通期業績見通しに対する進捗

2027年3月期

03



2027年3月期 通期業績見通し 連結業績 ー売上高、調整後営業利益、調整後EPSの下限引き上げ

2027年3月期の通期見通し

売上高の下限を引き上げ
堅調な事業業績を踏まえ、
調整後営業利益の下限を
引き上げ

売上高	1兆645億円 +2.4% CC[2] +5.3% YoY[3]	⟷	1兆760億円 +3.5% CC[2] +6.5% YoY[3]
調整後営業利益率[1]	15.7% +1.5pp YoY[3]	⟷	16.7% +2.5pp YoY[3]
調整後EPS[1]	111円 +20% YoY[3]	⟷	119円 +29% YoY[3]

第2四半期の実績がコミットメントの着実な実行を示す
当社計画への確信を深め、2027年3月期の通期見通し達成に向けた自信を強化

[1] 「その他の収益」「その他の費用」および一時的な米国関税還付（約203億円。うち売上原価の減額約196億円、金融収益約7億円）を除く。調整後EPSは、これらの項目を税効果考慮後で除外
[2] CC = Constant Currency（為替影響調整後） [3] YoY = 前期比


OLYMPUS

Appendix

2027年3月期 第2四半期 連結業績概況

（単位：億円） ※EPS、調整後EPSを除く	FY26 Q2	FY27 Q2 還付影響額を除く	米国関税還付影響額	FY27 Q2	前期比 還付影響額を除く	為替影響調整後 還付影響額を除く
売上高	2,478	**2,692**		**2,692**	+9%	+1%
売上原価	865	**952**	▲171	**781**	+10%	+8%
売上原価率	*34.9%*	***35.4%***		***29.0%***	*+0.4pp*	*+2.5pp*
販管費	1,199	**1,261**		**1,261**	+5%	▲1%
販管費率	*48.4%*	***46.8%***		***46.8%***	*▲1.5pp*	*▲1.0pp*
持分法による投資損益	▲40	**1**		**1**	-	-
その他の収益および費用	▲78	**▲91**		**▲91**	-	-
営業利益	295	**389**	171	**560**	+32%	+1%
営業利益率	*11.9%*	***14.4%***		***20.8%***	*+2.5pp*	*0pp*
調整後営業利益[1]	374	**480**	171	**652**	+29%	+2%
調整後営業利益率	*15.1%*	***17.8%***		***24.2%***	*+2.8pp*	*+0.2pp*
税引前利益	279	**372**	178	**550**	+33%	
税引前利益率	*11.3%*	***13.8%***		***20.4%***	*+2.6pp*	
当期利益[2]	202	**203**	127	**330**	+1%	
EPS	18円	**19円**	12円	**31円**	+6%	
調整後EPS	23円	**32円**	12円	**44円**	+38%	

[1] 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 [2] 親会社の所有者に帰属する当期利益

2027年3月期 第2四半期累計 連結業績概況

（単位：億円） ※EPS、調整後EPSを除く	FY26 Q2累計	FY27 Q2累計 還付影響額を除く	米国関税還付影響額	FY27 Q2累計	前期比 還付影響額を除く	為替影響調整後 還付影響額を除く
売上高	4,544	**5,096**		**5,096**	+12%	+3%
売上原価	1,579	**1,788**	▲171	**1,616**	+13%	+7%
売上原価率	*34.8%*	***35.1%***		***31.7%***	*+0.3pp*	*+1.4pp*
販管費	2,421	**2,511**		**2,511**	+4%	▲4%
販管費率	*53.3%*	***49.3%***		***49.3%***	*▲4.0pp*	*▲3.4pp*
持分法による投資損益	▲38	**▲10**		**▲10**	-	-
その他の収益および費用	▲44	**▲109**		**▲109**	-	-
営業利益	461	**678**	171	**850**	+47%	+18%
営業利益率	*10.2%*	***13.3%***		***16.7%***	*+3.2pp*	*+1.5pp*
調整後営業利益[1]	506	**787**	171	**959**	+56%	+27%
調整後営業利益率	*11.1%*	***15.4%***		***18.8%***	*+4.3pp*	*+2.6pp*
税引前利益	448	**648**	178	**826**	+45%	
税引前利益率	*9.9%*	***12.7%***		***16.2%***	*+2.9pp*	
当期利益[2]	292	**394**	127	**521**	+35%	
EPS	26円	**37円**	12円	**49円**	+42%	
調整後EPS	32円	**52円**	12円	**64円**	+63%	

[1] 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 [2] 親会社の所有者に帰属する当期利益

2027年3月期 第2四半期 セグメント別概況

（単位：億円）		FY26 Q2	FY27 Q2 還付影響額除く	米国関税還付影響額	FY27 Q2	前期比 還付影響額除く	為替影響調整後 還付影響額除く
消化器内視鏡ソリューション	売上高	1,680	**1,845**		**1,845**	+10%	+2%
	営業利益	353	**487**	114	**601**	+38%	+15%
	営業利益率	*21.0%*	***26.4%***		***32.6%***	*+5.4pp*	*+2.6pp*
	調整後営業利益[1]	381	**511**	114	**625**	+34%	+12%
	調整後営業利益率	*22.7%*	***27.7%***		***33.9%***	*+5.0pp*	*+2.2pp*
サージカルインターベンション	売上高	798	**846**		**846**	+6%	▲1%
	営業損益	▲23	**▲1**	57	**56**	-	-
	営業利益率	-	*-*		***6.6%***	-	-
	調整後営業利益[1]	17	**30**	57	**87**	+79%	▲32%
	調整後営業利益率	*2.1%*	***3.5%***		***10.3%***	*+1.4pp*	*▲0.7pp*
全社・消去[2]	売上高	0	**0**		**0**	-	-
	営業損益	▲34	**▲97**		**▲97**	-	-
連結合計	売上高	2,478	**2,692**		**2,692**	+9%	+1%
	営業利益	295	**389**	171	**560**	+32%	+1%
	営業利益率	*11.9%*	***14.4%***		***20.8%***	*+2.5pp*	*0pp*
	調整後営業利益[1]	374	**480**	171	**652**	+29%	+2%
	調整後営業利益率	*15.1%*	***17.8%***		***24.2%***	*+2.8pp*	*+0.2pp*

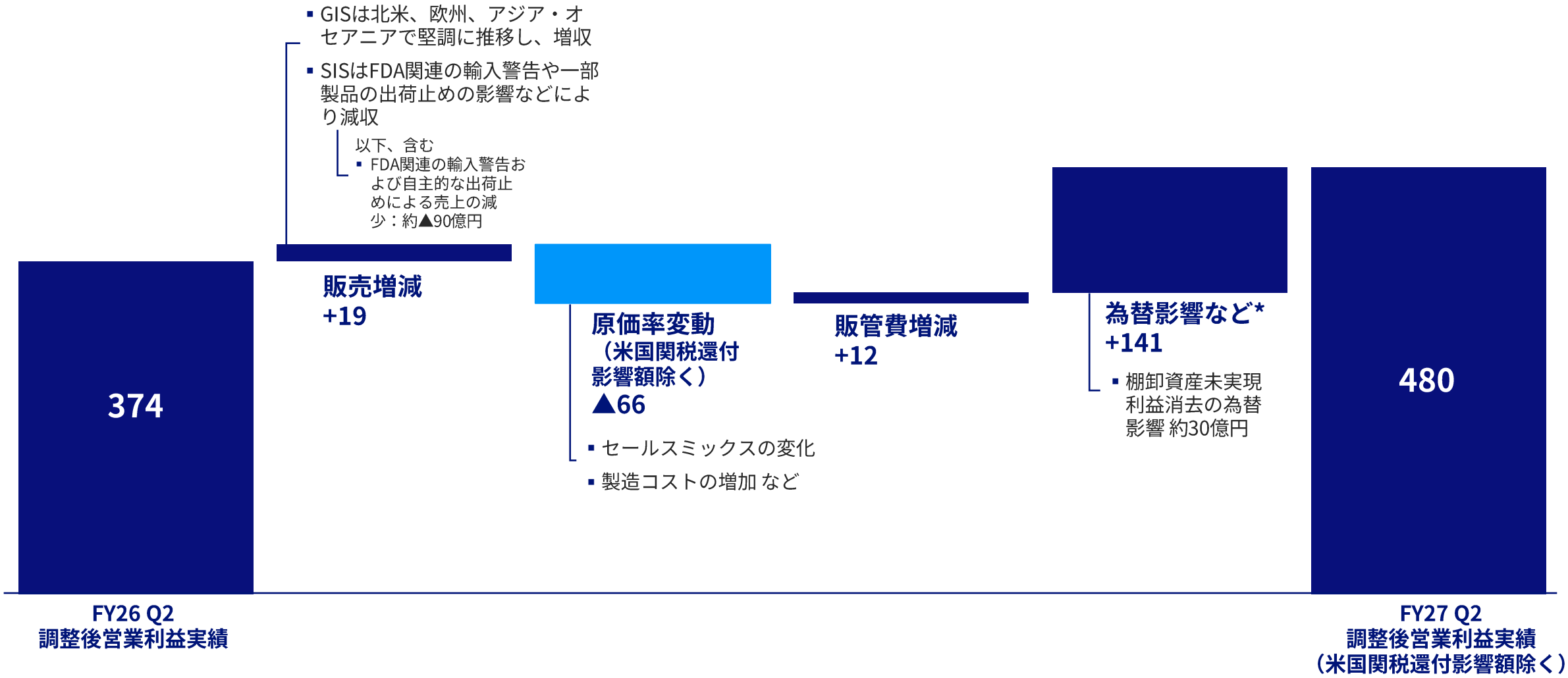
[1] 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値　[2] 2027年3月期より新規事業に関する研究開発や探索活動が事業セグメントの定義を満たさなくなったため、従来「その他」の区分に計上していた金額を「全社・消去」の区分に計上しております。この変更に伴い、FY26 Q2の値も変更後の区分に組み替えて表示しています

2027年3月期 第2四半期累計 セグメント別概況

（単位：億円）		FY26 Q2累計	FY27 Q2累計 還付影響額除く	米国関税還付影響額	FY27 Q2累計	前期比 還付影響額除く	為替影響調整後 還付影響額除く
消化器内視鏡ソリューション	売上高	3,070	**3,530**		**3,530**	+15%	+6%
	営業利益	534	**874**	114	**988**	+63%	+38%
	営業利益率	*17.4%*	***24.8%***		***28.0%***	*+7.3pp*	*+5.4pp*
	調整後営業利益[1]	582	**904**	114	**1,018**	+55%	+32%
	調整後営業利益率	*19.0%*	***25.6%***		***28.8%***	*+6.6pp*	*+4.7pp*
サージカルインターベンション	売上高	1,472	**1,566**		**1,566**	+6%	▲2%
	営業損益	▲42	**▲25**	57	**32**	-	-
	営業利益率	-	***-***		***2.0%***	-	-
	調整後営業利益[1]	4	**9**	57	**66**	+159%	▲337%
	調整後営業利益率	*0.2%*	***0.6%***		***4.2%***	*+0.4pp*	*-*
全社・消去[2]	売上高	1	**1**		**1**	-	-
	営業損益	▲31	**▲170**		**▲170**	-	-
連結合計	売上高	4,544	**5,096**		**5,096**	+12%	+3%
	営業利益	461	**678**	171	**850**	+47%	+18%
	営業利益率	*10.2%*	***13.3%***		***16.7%***	*+3.2pp*	*+1.5pp*
	調整後営業利益[1]	506	**787**	171	**959**	+56%	+27%
	調整後営業利益率	*11.1%*	***15.4%***		***18.8%***	*+4.3pp*	*+2.6pp*

[1] 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値　[2] 2027年3月期より新規事業に関する研究開発や探索活動が事業セグメントの定義を満たさなくなったため、従来「その他」の区分に計上していた金額を「全社・消去」の区分に計上しております。この変更に伴い、FY26 Q2累計の値も変更後の区分に組み替えて表示しています

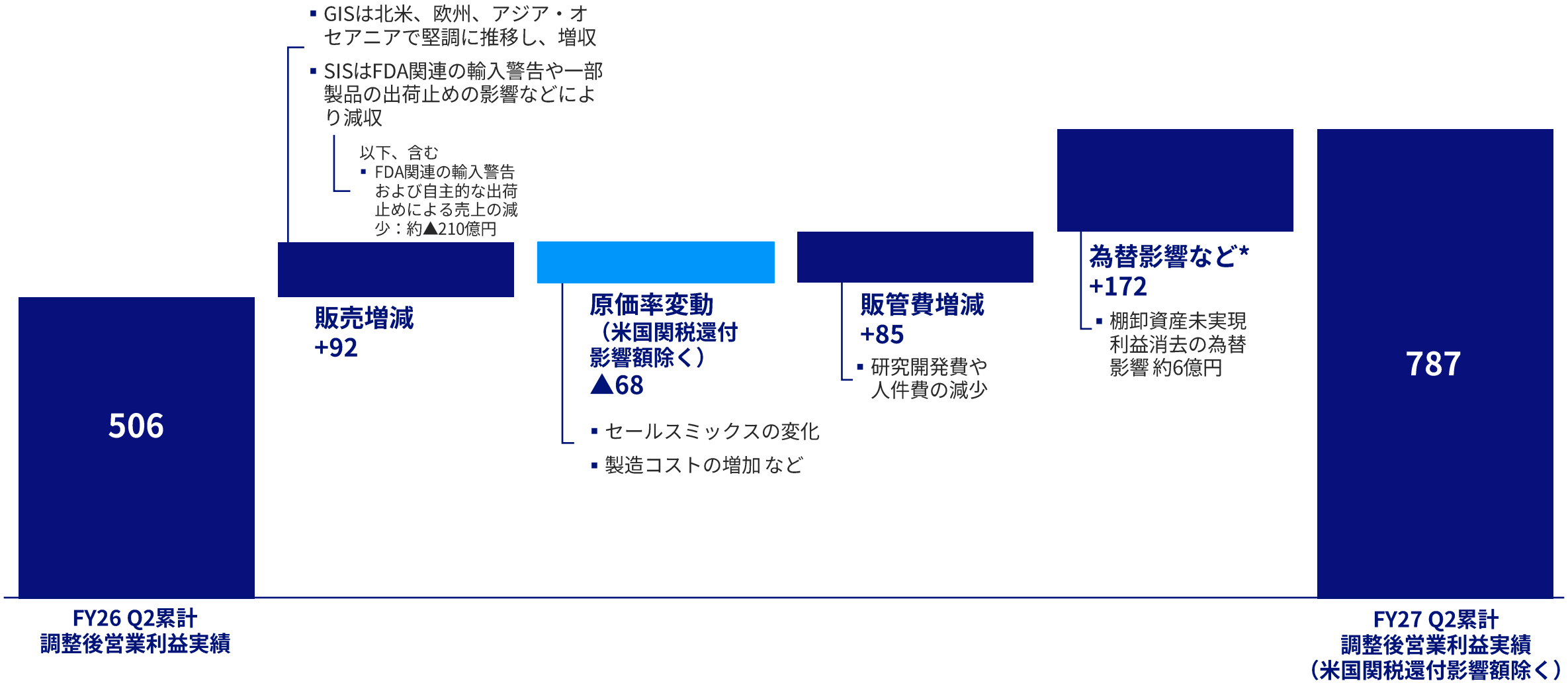
2027年3月期 第2四半期 連結調整後営業利益増減要因



（単位：億円）* 「持分法による投資損益」が含まれています

OLYMPUS

2027年3月期 第2四半期累計 連結調整後営業利益増減要因



（単位：億円）* 「持分法による投資損益」が含まれています

OLYMPUS

プロダクトパイプライン：消化器内視鏡ソリューション事業
（2026年11月10日時点）

現在の主力製品

消化器内視鏡
- EVIS X1システム・スコープ
- EVIS EXERA IIIシステム・スコープ
- EVIS LUCERA ELITEシステム・スコープ
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3
- 超音波画像診断装置 Aplio i800 EUS


EVIS X1システム


内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3


超音波画像診断装置 Aplio i800 EUS

消化器科処置具
- ERCP（ガイドワイヤ）
- ESD&EMR（ESDナイフ）
- サンプリング（スネア、生検鉗子）
- 止血（止血クリップ、止血関連ソリューション）
- EUS（超音波内視鏡検査用吸引生検針）


ガイドワイヤ


ESDナイフ

FY2026発売の主な製品

消化器内視鏡
- EVIS X1 EDOF上部消化管用ビデオスコープ（米国、中国）
- EVIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ（米国）
- OLYSENSE[1] CAD/AI（米国、欧州）
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（米国、中国）

消化器科処置具
- 止血クリップ Retentia（欧州、アジア・オセアニア）
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）
- 大腸内視鏡先端アタッチメント EndoCuff Vision（日本）
- ディスポーザブル回収ネット（欧州）
- 高周波スネア（欧州）
- 胆管用メタリックステント VIABIL（米国）

FY2027発売および発売予定の主な製品

消化器内視鏡
- EVIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ（中国）
- EVIS X1スコープ（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）
- OLYSENSE Asset Care（欧州）
- OLYSENSE Computer-Aided Metrics（欧州）
- 新超音波内視鏡（欧州、アジア・オセアニア）
- 超音波画像診断装置 Aplio i800 EUS（米国）

消化器科処置具
- 止血クリップ Retentia（中国）
- 胆管用メタリックステント VIABIL（欧州、アジア・オセアニア）

FY2028以降発売予定の主な製品

消化器内視鏡
- EVIS X1スコープ
- 新超音波内視鏡（米国、日本）
- OLYSENSE CAD/AI（アジア・オセアニア）
- OLYSENSE Report （欧州）
- OLYSENSE Computer-Aided Metrics（米国）
- OLYSENSE Insights

消化器科処置具
- 止血関連ソリューション EndoClot（中国、アジア・オセアニア）
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex（中国）
- 新止血クリップ
- 胆管用プラスチックステント
- シングルユース十二指腸内視鏡（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）
- 粘膜下層局注剤（米国、中国、アジア・オセアニア）

[1] OLYSENSEはオリンパス株式会社および/またはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します
（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております
（注）本資料に掲載されている製品は、指定された地域内の全ての国で販売されるとは限りません

プロダクトパイプライン：サージカルインターベンション事業
（2026年11月10日時点）

現在の主力製品

泌尿器科
- レゼクト電極、ESG-410
- ツリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System


レゼクト電極、ESG-410


SOLTIVE SuperPulsed Laser System

呼吸器科
- EVIS X1 気管支鏡
- シングルユース気管支鏡
- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ディスポーザブル吸引生検針
- スパイレーションバルブシステム
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3


EVIS X1 気管支鏡


吸引生検針

外科内視鏡
- VISERA ELITE III


VISERA ELITE III

FY2026発売の主な製品

泌尿器科
- シングルユース尿管鏡/膀胱鏡（米国、欧州、アジア・オセアニア）
- ツリウムファイバーレーザー装置SOLTIVE SuperPulsed Laser System（日本）
- VISERA S（米国）
- OES ELITE 硬性膀胱鏡（欧州、アジア・オセアニア）

呼吸器科
- 細径EBUSスコープ（欧州、日本、アジア・オセアニア）
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3（米国、中国）
- シングルユース気管支鏡（欧州）

外科内視鏡
- VISERA ELITE III（米国、中国）

FY2027発売および発売予定の主な製品

泌尿器科
- シングルユース尿管鏡/膀胱鏡（日本）
- 4Kカメラヘッド（米国、中国）
- OES ELITE 硬性膀胱鏡（米国、日本）
- レーザーシステム（米国）
- BioProtect社製品バルーン・スペーサー（米国）

呼吸器科
- EVIS X1 気管支鏡（米国）
- 細径EBUSスコープ（米国）

外科内視鏡
- ENDOEYEビデオ腹腔鏡（米国、欧州、日本、アジア・オセアニア）

FY2028以降発売予定の主な製品

泌尿器科
- レーザーシステム（欧州）
- VISERA S（中国）
- OES ELITE 硬性膀胱鏡（中国）

呼吸器科
- EVIS X1 気管支鏡（中国）
- 細径EBUSスコープ（中国）
- クライオシジョンクライオカテーテルシステム（米国、欧州）

外科内視鏡
- 次世代外科内視鏡システム

（注）医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております
（注）本資料に掲載されている製品は、指定された地域内の全ての国で販売されるとは限りません

2027年3月期 第2四半期累計 連結調整後営業利益

☑調整後営業利益は、営業利益から「その他の収益・その他の費用」を差し引いた数値を記載

（単位：億円）		FY26 Q2累計	FY27 Q2累計
営業利益		461	**678**[1]
①調整項目：その他の収益		74	**16**
主な収益科目	▪株式会社エビデントとのライセンス使用許諾等に関する合意に基づく対価60（全社・消去）		
②調整項目：その他の費用		▲118	**▲125**
主な費用科目	▪品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用▲54（GIS、SIS） ▪開発資産の減損損失▲21（SIS）		▪グローバルレベルで組織体制を変革し、人員数の最適化を図るための施策の実施に伴う費用▲30（GIS、SIS、全社・消去） ▪事業ポートフォリオの最適化のために実施している戦略的レビューに関連する費用▲24（全社・消去） ▪コンプレイント対応、医療機器報告（MDR）、プロセス及び設計の検証等の改善活動費用▲13（GIS、SIS） ▪事業戦略の見直しに伴う損失及びその他関連損失▲28（GIS、SIS）
調整後営業利益		506	**787**[1]

[1] 一時的な米国関税還付171億円を除く

OLYMPUS

連結財政状態計算書

1 総資産は減少。現預金、営業債権及びその他の債権が減少し、 BioProtect社の買収によりのれんが増加

2 社債及び借入金による資金調達を主要因に、負債は増加

3 自己株式の取得や配当金の支払を主要因に、資本は減少

（単位：億円）	2026年3月末	2026年9月末	増減額
流動資産	7,063	**6,527**	▲536
現金及び現金同等物	1,880	1 **1,577**	▲303
営業債権及びその他の債権	2,368	1 **2,068**	▲300
棚卸資産	2,071	**2,171**	+100
非流動資産	8,309	**8,692**	+384
有形固定資産	2,872	**2,906**	+34
無形資産	1,010	**1,149**	+139
のれん	1,942	1 **2,221**	+279
資産 合計	15,372	1 **15,219**	▲153

	2026年3月末	2026年9月末	増減額
流動負債	4,369	**3,917**	▲452
営業債務及びその他の債務	806	**545**	▲262
社債及び借入金	799	2 **901**	+102
その他の流動負債など[1]	2,764	**2,471**	▲292
非流動負債	2,882	**3,748**	+865
社債及び借入金	1,597	2 **2,464**	+867
資本	8,120	3 **7,554**	▲566
自己資本比率	52.8%	**49.6%**	▲3.2pp
負債および資本合計	15,372	**15,219**	▲153

[1] 連結財政状態計算書の勘定科目である、その他の金融負債、未払法人所得税、引当金、その他の流動負債を含みます

連結キャッシュフロー計算書

1 FCF：米国関税の還付金178億円を含む税引前利益の増加の一方、BioProtect社の買収を主要因に、FCFは219億円のマイナス。特殊要因を考慮した調整後FCF[1]は236億円のプラス

2 財務CF：社債及び借入金による資金調達の実施（966億円）を、自己株式の取得による支出（600億円）、配当金の支払（330億円）、リース負債の返済（115億円）による支出で相殺し、79億円のマイナス

（単位：億円）	FY26 Q2累計		FY27 Q2累計	増減
税引前利益	448		**826**	+378
営業キャッシュフロー（営業CF）	211		**623**	+413
投資キャッシュフロー（投資CF）	▲504		**▲842**	▲339
フリーキャッシュフロー（FCF）	▲293	**1**	**▲219**	+74
調整後フリーキャッシュフロー（調整後FCF）	**38**		**236**	+198
財務キャッシュフロー（財務CF）	▲777	**2**	**▲79**	+697
現金および現金同等物期末残高	1,472		**1,577**	+105

FY26 Q2累計の主な特殊要因

営業CF：科学事業の譲渡に関連した税金の支払（海外・日本）	▲280億円
投資CF：Swan EndoSurgical, Incに対する出資など	▲49億円

FY27 Q2累計の主な特殊要因

営業CF：米国関税の還付金	178億円
営業CF：グローバルレベルで組織体制を変革し、人員数の最適化を図るための施策の実施に関する支出	▲174億円
投資CF：BioProtect社の株式の取得、Swan EndoSurgical, Incに対する出資など	▲460億円

[1] 「その他の収益・その他の費用のうちキャッシュイン、アウトしたもの」、「M&A関連支出」、「構造改革関連支出」など特殊要因を調整

OLYMPUS

2027年3月期 通期業績見通し 連結業績

（単位：億円） ※EPS、調整後EPSを除く	FY26 通期	FY27 通期見通し 還付影響額除く	米国関税還付影響額	FY27 通期見通し	前期比 還付影響額除く	為替影響調整後 還付影響額除く
売上高	10,107	**10,645～10,760**		**10,645～10,760**	+5.3%～+6.5%	+2.4%～+3.5%
売上原価	3,566	**3,690～3,705**	▲196	**3,490～3,510**	+3.5%～+3.9%	+3.1%～+3.5%
売上原価率	*35.3%*	***34.3%～34.8%***		***32.5%～33.0%***	*▲1.0pp～▲0.5pp*	*▲0.1%～+0.4pp*
販管費	5,071	**5,195～5,200**		**5,195～5,200**	+2.4%～+2.5%	▲0.1%～0%
販管費率	*50.2%*	***48.3%～48.8%***		***48.3%～48.8%***	*▲1.8pp～▲1.4pp*	*▲1.7pp～▲1.2pp*
その他の収益および費用など	▲499	**▲390**		**▲390**	-	-
営業利益	971	**1,355～1,480**	196	**1,550～1,675**	+39.5%～+52.4%	+22.1%～+34.8%
営業利益率	*9.6%*	***12.7%～13.8%***		***14.6%～15.6%***	*+3.1pp～+4.1pp*	*+1.9pp～+2.9pp*
調整後営業利益[1]	1,433	**1,670～1,795**	196	**1,865～1,990**	+16.5%～+25.3%	+5.7%～+14.3%
調整後営業利益率	*14.2%*	***15.7%～16.7%***		***17.5%～18.5%***	*+1.5pp～+2.5pp*	*+0.5pp～+1.5pp*
当期利益[2]	682	**900～985**	135	**1,035～1,120**	+32.0%～+44.5%	
EPS	61円	**84円～92円**	13円	**97円～105円**	+38%～+51%	
調整後EPS	92円	**111円～119円**	13円	**124円～133円**	+20%～+29%	

2027年3月期配当
年間配当30円を予定

[1] 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 [2] 親会社の所有者に帰属する当期利益

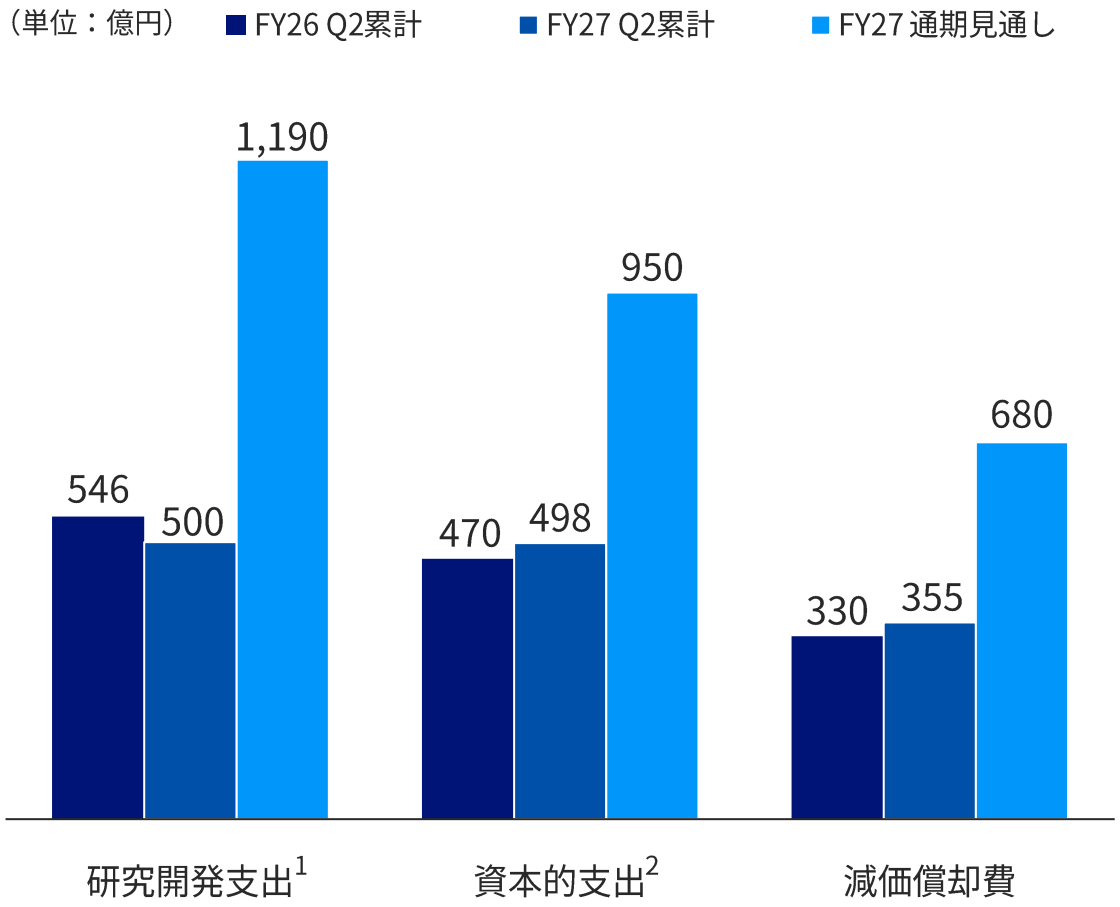
OLYMPUS

2027年3月期 通期業績見通し セグメント別業績

（単位：億円）		FY26 通期	FY27 通期見通し 還付影響額除く	米国関税還付影響額	FY27 通期見通し	前期比 還付影響額除く	為替影響調整後 還付影響額除く
消化器内視鏡ソリューション	売上高	6,974	7,440～7,490		7,440～7,490	+6.7%～+7.4%	+3.7%～+4.5%
	営業利益	1,364	1,730～1,790	130	1,860～1,920	+26.9%～+31.3%	+17.0%～+21.5%
	営業利益率	*19.6%*	*23.3%～23.9%*		*25.0%～25.6%*	*+3.7pp～+4.3pp*	*+2.5pp～+3.2pp*
	調整後営業利益[1]	1,644	1,820～1,880	130	1,950～2,010	+10.7%～+14.4%	+2.5%～+6.2%
	調整後営業利益率	*23.6%*	*24.5%～25.1%*		*26.2%～26.8%*	*+0.9pp～+1.5pp*	*▲0.3pp～+0.4pp*
サージカルインターベンション	売上高	3,131	3,205～3,270		3,205～3,270	+2.4%～+4.4%	▲0.6%～+1.4%
	営業損益	▲150	5～70	65	70～135	-	-
	営業利益率	-	*0.2%～2.1%*		*2.2%～4.1%*	-	-
	調整後営業利益[1]	8	110～175	65	175～240	+1,258.4%～+2,061.1%	+900.3%～+1,665.9%
	調整後営業利益率	*0.3%*	*3.4%～5.4%*		*5.5%～7.3%*	*+3.2pp～+5.1pp*	*+2.3pp～+4.2pp*
全社・消去[2]	売上高	2	-		-	-	-
	営業損益	▲243	▲380		▲380	-	-
連結合計	売上高	10,107	10,645～10,760		10,645～10,760	+5.3%～+6.5%	+2.4%～+3.5%
	営業利益	971	1,355～1,480	196	1,550～1,675	+39.5%～+52.4%	+22.1%～+34.8%
	営業利益率	*9.6%*	*12.7%～13.8%*		*14.6%～15.6%*	*+3.1pp～+4.1pp*	*+1.9pp～+2.9pp*
	調整後営業利益[1]	1,433	1,670～1,795	196	1,865～1,990	+16.5%～+25.3%	+5.7%～+14.3%
	調整後営業利益率	*14.2%*	*15.7%～16.7%*		*17.5%～18.5%*	*+1.5pp～+2.5pp*	*+0.5pp～+1.5pp*

[1] 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値　[2] 2027年3月期より新規事業に関する研究開発や探索活動が事業セグメントの定義を満たさなくなったため、従来「その他」の区分に計上していた金額を「全社・消去」の区分に計上しております。この変更に伴い、FY26 通期の値も変更後の区分に組み替えて表示しています

投資実績推移および2027年3月期 通期見通し



（単位：億円）	FY26 Q2累計	FY27 Q2累計	FY27 通期見通し
研究開発支出[1] (a)	546	**500**	1,190
開発費資産化 (b)	94	**105**	250
損益計算書上における研究開発費 (a-b)	452	**395**	940

（単位：億円）	FY26 Q2累計	FY27 Q2累計
償却費	42	**42**
	2026年6月末	**2026年9月末**
開発資産残高	747	**769**

[1] 研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています
[2] 資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用権資産が含まれています。
（FY26 Q2累計：58億円、FY27 Q2累計：102億円、FY27 通期見通し：130億円）

為替レート及び為替感応度

為替

（単位：円）	FY26 Q1	FY26 Q2	FY27 Q1	FY27 Q2	FY27 見通し
円／ドル	144.59	147.48	159.49	**159.25**	155
円／ユーロ	163.80	172.32	185.39	**183.32**	181
円／人民元	19.99	20.6	23.43	**23.61**	22.5

為替感応度（年間）

（単位：億円）	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	29	5
ユーロ（1円あたり）	17	5
人民元（1円あたり）	39	17

*上表の数値は継続事業の金額を表示しています。また、為替感応度（年間）はFY26Q4実績より算出しています

略語集

略語	英語	日本語
EBUS-TBNA	Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Fine Needle Aspiration	超音波気管支鏡ガイド下針生検
EMR	Endoscopic Mucosal Resection	内視鏡的粘膜切除術
ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography	内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
ESD	Endoscopic Submucosal Dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術
EUS	Endoscopic Ultrasound	超音波内視鏡